

ガスフライヤー取扱説明書

もくじ

製品編

各部の名称 1~2

安全上のご注意

- 必ずお守りください 3~6
- 注意ラベルの貼付位置 5

初めてお使いになる前に 7
異常過熱防止装置 (ハイカットサーモ) 7

使用上のご注意

ご使用方法

- 点火操作・消火操作・終業操作 8
- 温度調節方法 9
- マッチ点火用窓からの点火方法 9
- 空気調節のしかた 9

排油作業のしかた 10

点検・お手入れのしかた

- 必ずお守りください 11~12
- 油槽内の掃除 12

故障かな?と思ったら 12

保管とアフターサービス

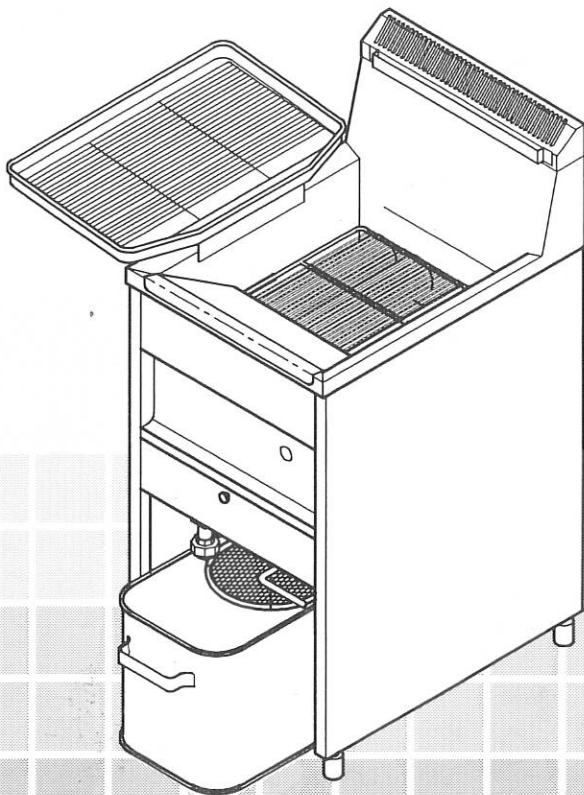
- 保管 (長期間使用しない場合) 13
- アフターサービスのお申し込み 13
- 保証について 13

製品仕様一覧 14~15

工事編

設置上のご注意

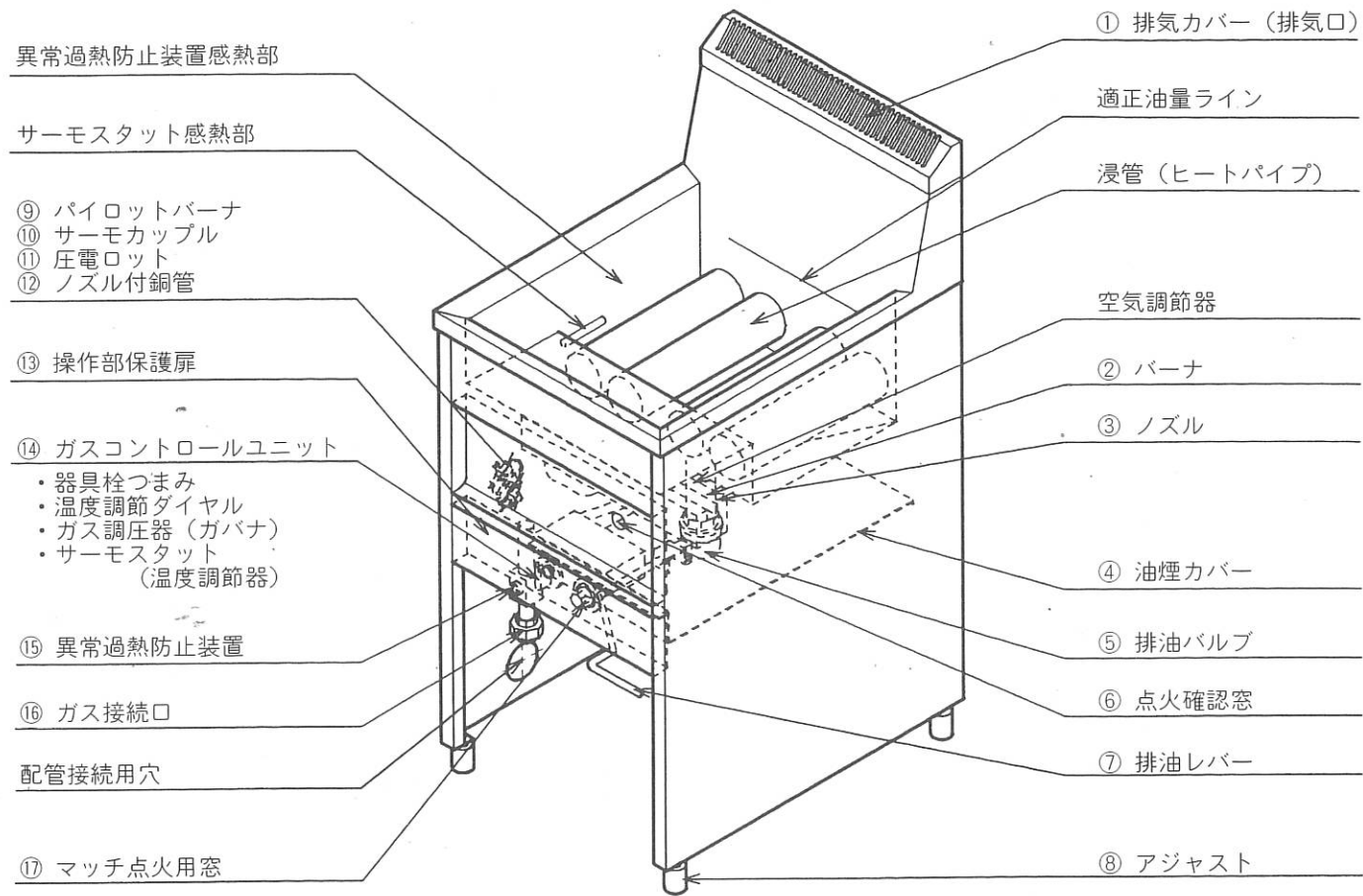
- 必ずお守りください 16~18
- 設置後のご確認 18



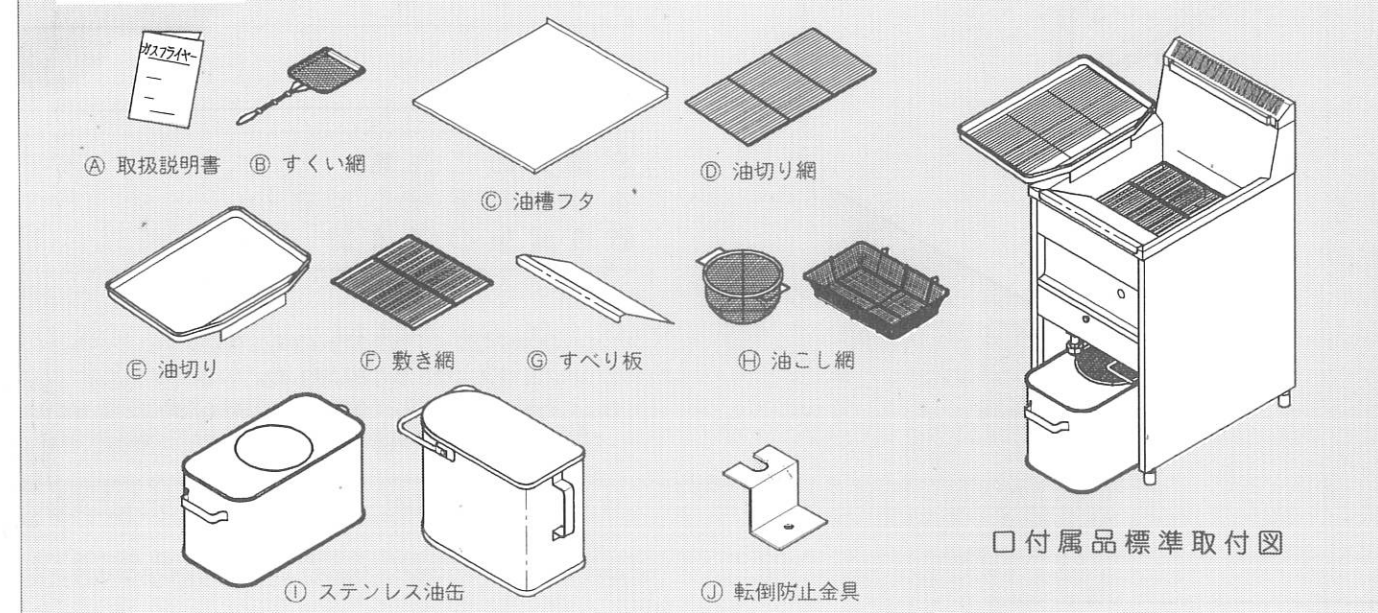
このたびはタニコー「ガスフライヤー」をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、すぐに取り出せるようにして大切に保存してください。
- 使用者が変わった場合には必ずこの取扱説明書を読ませ、かつ指導してください。

各部の名称



付属品



□ 付属品標準取付図

各部の名称

部品名	型式・サイズ	No.	適用機種別使用数											
			30	35	45	55	67	87	67W	87W	105W	130W		
① 排気カバー (排気口)	各機種別		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
② バーナ	LP・12A・13A	スリットバーナ	N00103001		1						2			
			N00103002			1						2		
			N00103003				1						2	
			N00103004					1						2
			N00103005						1					
② バーナ	その他都市ガス	鋳物バーナ	N00103018	1							2			
			N00103019		1							2		
			N00103020			1							2	
			N00103021				1							2
			N00103022					1						
③ ノズル	ガス種別部品	P0080***	1	1	1	1	2	2	2	2	2	4		
④ 油煙カバー			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑤ 排油バルブ	32Aボールバルブ	N00100800	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
⑥ 点火確認窓	雲母付き	N00102500	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑦ 排油レバー		N00100900	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
⑧ アジャスト	30φ×H35 (+50)	P0280250	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
⑨ バイロットバーナ	AZ-17	P0120060	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
⑩ サーマカップル	熱電対方式	P0130100	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
⑪ 圧電ロット			1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
⑫ ノズル付銅管	L = 350	P012012*	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
⑬ 操作部保護扉	各機種別	N0010180*	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑭ ガスコントロールユニット	器具栓つまみ		1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
	温度調節ダイヤル		1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
	ガス調圧器 (ガバナ)		1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
⑮ 異常過熱防止装置	サーマカップル		1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
	液膨張式 (手動復帰)		1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
⑯ ガス接続口	// 保護用透明キャップ		1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
	ホースエンド		1											
⑰ マッチ点火用窓	15Aユニオン		1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		
	保護シール付		1	1	1	1	1	1	2	2	2	2		

付属品名	型式・サイズ	No.	適用機種別使用数									
			30	35	45	55	67	87	67W	87W	105W	130W
(A) 取扱説明書	各機種共通		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(B) すくい網	W150 × D450	P0300390	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(C) 油槽フタ	各機種別		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(D) 油切り網	W480 × D270 × H70	P0300370	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(E) 油切り	W505 × D370 × H40 (+80)	N00106600	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(F) 敷き網	225 × 265		1									
	275 × 280	P0300310		1						2		
	375 × 280	P0300320			1						2	
	465 × 280	P0300510				1						2
	475 × 280	P0300500					1					
	595 × 280	P0300330						1				2
(G) すべり板	795 × 280	P0300340							1			
	280 × 280	N00107201		1						2		
	380 × 280	N00107202			1						2	
	470 × 280	N00107203										2
	480 × 280					1						
	595 × 280	N00107204										2
(H) 油こし網	600 × 280						1					
	800 × 280	N00107205							1			
	8リットル油缶用		1									
(I) ステンレス油缶	210φ × H120	P0300460		1	1	1	1	2	2	2	2	3+予備
	8リットル用		1									
	18リットル用	N00106802		1								
(J) 転倒防止金具	25リットル用	N00106801			1	1	1	2	2	2	2	3+予備
			2									

安全上のご注意 必ずお守りください

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は、次のようになっています。

	危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。
	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり*物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

	△は、危険・警告・注意を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。
	Ⓛは、強制（必ずすること）を示します。具体的な禁止内容は、Ⓛの中や近くに文章や絵で示します。

危険

本体に貼ってある銘板のガス種、電源（電圧、周波数）以外では使用しないこと

- 異常燃焼で火災、火傷やCO中毒の原因になったり、機器が故障することがあります。



引越や移設されたときにも、供給ガスの種類と機器銘板のガスの種類が一致していることを必ず確かめること

- 異常燃焼で火災、火傷やCO中毒の原因になったり、機器が故障することがあります。



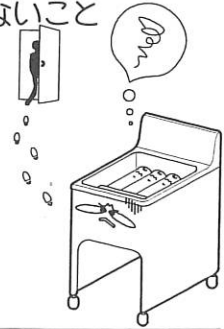
機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋等）や引火性（エアゾール缶、ガソリン、ベンジン、接着剤、石油かん等）のものは置かないこと

- 焦げたり燃えたりして火災の原因になります。



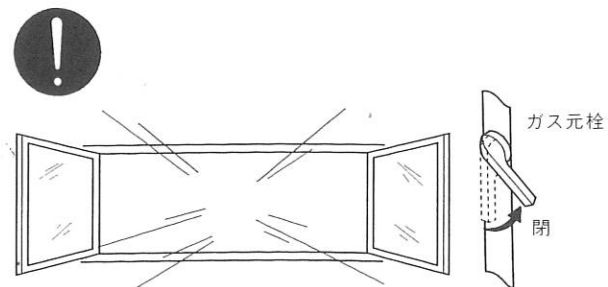
使用中は機器のそばを離れないでください。火をつけたまま就寝、外出はしないこと

- 異常過熱による火災の原因になります。



ガス漏れに気付いたときはすぐに機器の使用をやめ、ガスの元栓を閉じ、窓や戸を開放しガスを外に出し、販売店またはガス供給会社に連絡すること

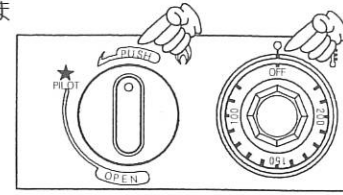
- 炎や火花で引火し、爆発事故を起こす原因になります。すべての処置が終わるまでの間、絶対に火をついたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差し及び周辺の電気を使用しないでください。



警告

ガスの元栓を開閉するときは、必ず器具栓つまみガスをすべて閉じている事を確認すること

- ガス漏れによる火災や、ガス中毒の原因になります。

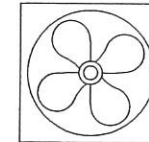


固形状のままの油脂（ラード等）は、油槽内に入れないこと

- 空焚き状態となり、火災や機器の故障の原因となります。溶かしてから入れてください。

ご使用と同時に換気扇を回すなど、必ず換気すること

- もし換気をしなければ、室内の空気が汚れて不完全燃焼し、CO中毒になる原因になります。



機器の改造（火力アップ・安全機構の取り外し・本来使用すべきでない部品の取り付け）は絶対にしないこと

- 異常燃焼で火災、火傷やCO中毒の原因になったり、機器が故障する場合があります。

ご使用前に油槽内を充分点検・掃除をすること

- 油槽内に水分や揚げカス、異物等があると、使用中にそれが破裂したり燃えたりすることがあり、大変危険です。

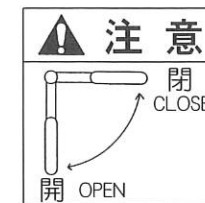


工業用工作油・灯油・ガソリン等、食用油以外は油槽内に入れないこと

- 火災や機器の故障の原因となります。

油槽内に油を入れる際は、排油レバーが閉（水平）の位置であることを確認すること

- 火傷やケガ、機器の故障の原因となります。



使用中及び使用直後は油槽、排油口、本体、排気筒等が高温になっていますので手を触れないこと

- 火傷やケガの原因となります。



排気筒の上にものを乗せないこと

- 不完全燃焼や焼損の原因になります。



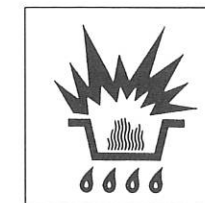
すくい網等で排気筒を叩かないこと

- 揚げカスや油がたまり、火災をおこしたり、不完全燃焼を起こす可能性があります。



空焚きはしないこと

- 異常過熱による火災や機器の故障の原因になります。



スプレー、ガソリン、ベンジン等引火の恐れのあるものを近くで使用しないこと

- 火災等の原因になります。



警告

消火直後の再点火操作に注意すること

- 消火直後、口火安全装置の熱電対安全弁が閉まらないうちに器具栓を開くと、生ガスが出る場合があります。



油槽内の感熱部に触らないこと

- 傷ついたり、折れたりすると温度調節が効かなくなり、火災をおこす可能性がありますが大変危険です。



禁止

付属品の油切り板は必ず油槽側面の所定位置に取り付けて使用すること

- 他の場所に取り付けて使用すると、油やカスが本体内や煙突内に浸入して、火災や異常燃焼の原因になります。



常に油が規定の適正油量であることを確認すること（1P「各部の名称」を参照してください）

- 油が不足しますと、異常過熱防止装置が働かず、火災をおこす可能性がありますが大変危険です。



注意ラベルの貼付位置

●特に重要と考えられる事項について本体に注意ラベルを貼り付けています。

●マッチ点火

圧電点火不良時にはこのシールをはがして、マッチ等で点火してください。
※取扱説明書をご覧ください。

●ご使用上注意（フライヤー警告シール）

警告

水かけ厳禁

空焚き厳禁

●本体及びガスコントロールユニットには絶対に水や油をかけないでください。故障の原因です。

●空焚きはしないでください。火災、火傷、故障の原因です。

●固形状の油脂（ラード等）は槽内に入れてください。

●ガスの元栓を開閉するときは、必ず器具栓つまみが《PUSH》の位置で、温度調節ダイヤルが《OFF》の位置になっていることを確認してください。

●油槽に油を入れる際は、排油レバーが水平の位置（閉）であることを確認の上、油槽内後面油溜ラインまで油を入れてください。

●使用中及び使用後は本体及び油槽内の油が高温になりますので、取扱には十分注意してください。

●製品銘板



●ガス種類

●排油レバー注意

注意

閉 CLOSE

開 OPEN

排油前に必ず油缶が正しい位置にあるが確認してください。

油缶の容量を確認してください。

油缶は指定の付属品をお使いください。

排油後は、必ずレバーを【閉】の位置に戻してください。

●油缶注意

警告

油量 25ℓ

- 排油する前には、必ず油缶が正しい位置にあることを確認してください。
- 排油直後の油缶は非常に高温です。触らないでください！動かさないでください！
- 油缶を動かすときは、油が十分に冷えた事を確認してから、前を少しあげて、ゆっくりと引き出してください。
- この油缶の有効油量は常温時で25リットルです。危険ですのでそれ以上は絶対に入れてください。（加熱された油脂は膨脹しますので、排油の際は注意してください。）
- 火を消してすぐに排油しますと油槽の中の炎導パイプに油が焦げ付き。また冷たくなりすぎますと、油の流れが悪くなります。

注意

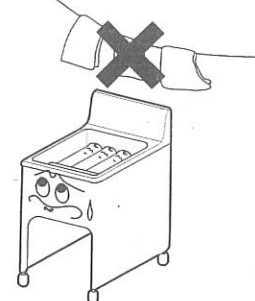
ご使用中に異常な燃焼、臭気、音等、普段と違った状態になったときや、不具合が生じたときは、ただちに使用を中止して販売店に点検を申し付けること

- 不完全燃焼による中毒、異常燃焼による機器の過熱や焼損、火災等の恐れがあります。また機器故障の原因になることがあります。



この機器は業務用揚げ調理に使用する目的として作られています。家庭用およびそれ以外の用途には使用しないこと

- 過熱、異常燃焼等による焼損、火災等の危険があります。また機器故障の原因になることがあります。



使用中に排油口や排気筒付近に顔や手を持っていかないこと

- 火傷やケガの原因となります。



地震、火災等緊急の場合は、あわてずに使用を中止すること

- 転倒による火災、事故の原因となります。



ご使用前に、必ず燃焼状態を見て、空気調節を行うこと（詳しくは9P「空気調節のしかた」を参照してください）

- 異常燃焼による事故の原因になります。また、空気不足の場合には鍋等をすすで汚します。



使用中および使用直後は、機器本体とその周辺が熱くなりますので、操作部以外は触らないこと

- 火傷やケガをする原因となります。



油槽内を水洗いした後は、完全に水気をとってから、油をいれること

- 残った水分が沸騰し、火傷をする原因となります。



調理品の投入の時は、油が跳ねて飛び散ることがありますので注意すること

- 火傷やケガをする原因となります。



冷凍食品は氷をよく落としてから入れること

- 水が沸騰して火傷をする原因となります。



油は必ず規定の適正油量ラインまで入れること（詳しくは1P「各部の名称②」を参照してください）

- 油が不足しますと火災や機器故障の原因となります。



ガス元栓に油がかからないように注意すること

- 火災や機器の故障の原因となります。



開閉時、操作部等のネジがお手入れのとき等にゆるむ場合があります

- 操作時にケガをする場合がありますので、ときどきゆるんでいないか、点検してください。



身体の一部が操作部付近に触れないよう注意すること

- 不意に機器が運転する場合があります。



開いた操作部保護扉に強い力を加えたり、ぶつかったりしないよう注意してください

- ドアや扉が変形したり、閉まらなくなります。



初めてお使いになる前に

⚠️ お願い

十分に清掃してありますが、念のためもう一度きれいに清掃してください（詳しくは12P「油槽内の掃除」を参照してください）



試運転調整前には必ず異常過熱防止装置の赤いスイッチを押して試験リセットしてください（詳しくは下記「異常過熱防止装置」を参照してください）



付属品等は中性洗剤等で水洗いし、十分に水気を切り、所定の位置に取り付けてください



配管接続直後は、配管内に空気等が入っていますので、若干火が着きにくい事があります。その場合は空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください



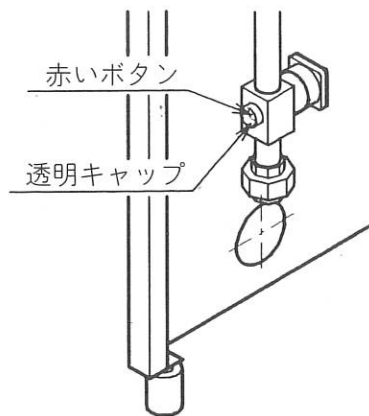
異常過熱防止装置（ハイカット）

フライヤーの油温が異常に上昇したり、強い衝撃を受けるとセンサーが作動して、自動的にガスを遮断し、すべてのバーナへのガスの供給をストップします。

1 センサーが異常を感知したら、本体左下側面（2槽式は両面）の赤いボタンが飛び出し、異常過熱防止装置が作動したことをお知らせします。
※「各部の名称」1Pを参照してください。

2 異常過熱防止装置が作動しますと、ガスをストップしてバーナの火を消し異常過熱が原因による火災事故等を防止します。赤いボタンを押すことにより復帰します。

3 異常過熱防止装置を復帰しないとガスは供給されず、再び点火することはできません。また油温が安全温度に下がるまで復帰させることはできません。



異常過熱防止装置が作動した場合の復帰リセットは専門員にまかせること
●原因究明と再発防止のために、お買い上げ店もしくは当社までご連絡ください。

⚠️ 注意 フライヤー本体左側（2槽式は両面）には、加熱物（コンロ、ガス・電熱機器等）を併設しないこと
●加熱物よりの輻射熱により異常過熱防止が誤作動するおそれがあります。

⚠️ お願い 初めてお使いになる時は、まず赤いボタンを押して復帰リセットしてください。まれに搬送設置時の振動等により異常過熱防止装置が作動している場合がありますが、故障ではありません。

使用上のご注意

ご使用方法

点火操作

1 温度調節ダイヤルが【OFF】の位置にある事を確かめて、ガス元栓を開けてください。



2 器具栓つまみを押してそのままゆっくり【PILOT】の位置へ（カチツという音がするまで）回す。



3 点火確認窓から、パイロットバーナに着火したことを確認してから数秒間、器具栓つまみを押し続ける。



4 器具栓つまみから手を離してもパイロットバーナが燃焼している事を確認してください。消火した時はもう一度操作を繰り返してください。



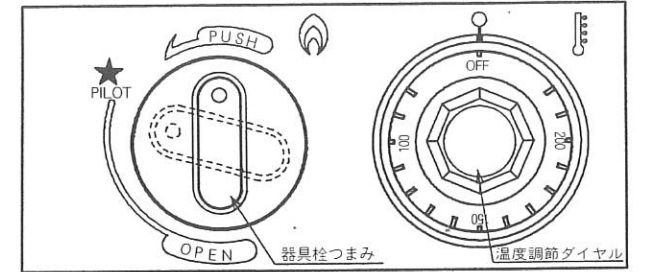
5 器具栓つまみを【OPEN】へ回す。



6 温度調節ダイヤルを回してお好みの温度にセットする。



7 メンバーナに着火しましたら、後はセットした温度で自動運転いたします。なおパイロットバーナだけの保持の場合は、器具栓つまみを【PILOT】にセットしてください。



消火操作

1 温度調節ダイヤルを【OFF】に戻してください。メンバーナが消え、パイロットバーナだけが燃焼しています。



2 点火つまみを【PUSH】の位置に戻してください。メン・パイロットバーナとも、全部の運転を中止します。



3 ガスの元栓を閉じてください。

終業操作

1 器具栓つまみが【PUSH】の位置で温度調節ダイヤルが【OFF】の位置になっている事をお確かめください。



2 ガスの元栓を閉じてください。

⚠️ 警告 終業時には、ガスの元栓を必ず閉じて、必ず消火していることを確認すること
●火災等の原因になります。

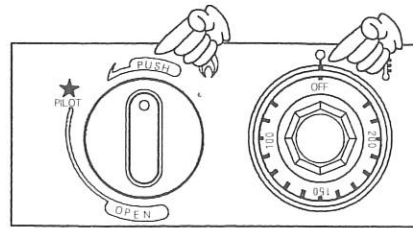
⚠️ お願い 初めて点火するときは、配管内に空気が入っていて点火しないことがあります。この場合空気が抜けるまで、数回点火動作を繰り返してください。あまり早く回すと点火しないことがあります。

ご使用方法

温度調節方法

温度設定は、温度調節ダイヤルに表示された温度を目安として、お好みの温度にセットしてください

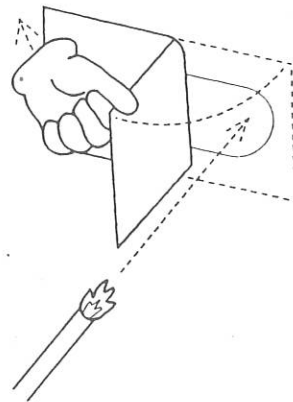
※上記温度目安は、ガス圧・燃焼状態・周囲の温度等の作業環境により若干変化する場合があります。



マッチ点火用窓からの点火方法

圧電点火不良時には本体前面のマッチ点火用窓のシールをはがして、マッチ等で点火してください。点火方法は、8P「点火操作2」の前に、火の着いたマッチ等を入れてから行ってください。

圧電点火不良時にはこのシールをはがして、マッチ等で点火してください。
※正しい点火方法(取扱説明書をご覧ください)でお使いください。



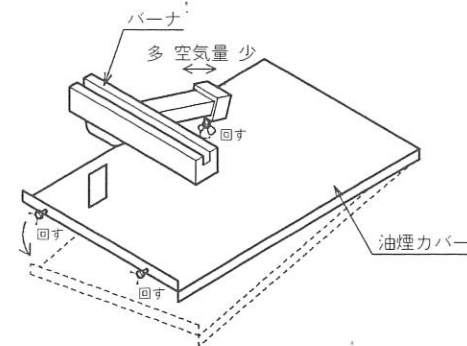
△ 注意 あくまでも、故障時の緊急対策のみとし、必ず故障を修理してから継続使用すること
●守らない場合、火災や他部品の故障の原因となります。

空気調節のしかた

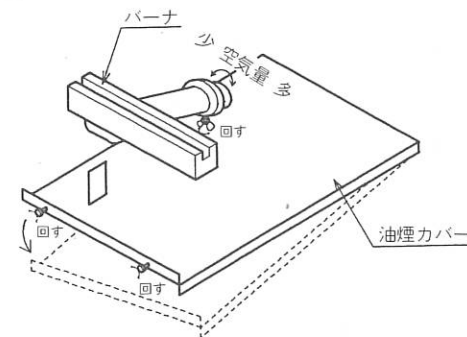
あらかじめ空気調節されて、最良の状態での燃焼するようにセットされています(LPG・13Aのみ)。万一、燃焼状態が悪い場合は、油槽底部の油煙カバーを取り外し空気調節器をスライドさせて空気の量を調節してください(「各部の名称」1P及び右図を参照してください)。

《黄色い炎》
…… 空気(1次空気)が不足しています。空気調節器を開いて空気の量を増やしてください。

《火が飛び、火足が短い》
…… 空気(1次空気)が多すぎます。空気調節器を閉じて空気の量を減らしてください。



【LPG・13A・12Aガスの場合】



【その他のガスの場合】

△ 注意 空気調節後には、必ず油煙カバーを取り付けてから使用すること
●取り付けない場合、排油時の油煙によりバーナ、パイロットバーナが目詰まりを起こし、機器故障の原因となります

排油作業のしかた 必ずお守りください

- 1 排油前に必ず油缶が正しい位置にあり、かつ排油量に対し油缶容量が充分であることを確認してください。
- 2 排油レバー(1P「各部の名称」及び5P「注意ラベルの貼付位置」を参照してください)を【開】OPENの位置まで下げてください。
- 3 排油後は必ず排油レバーを【閉】CLOSEの位置まで上げてください。

△ 注意

油を抜く際には、油はねの無いようにしずかに抜くこと

●油がかかると火傷やケガ、及びガス通路や部品の故障の原因になります。



安全のため排油作業時には保護手袋を使用すること

●保護手袋を使用しないと手に火傷やケガをする原因となります。



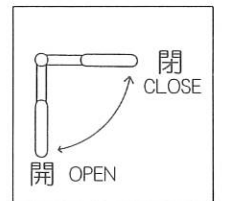
排油前に油缶が正しい位置にあるか確認すること

●排油バルブの真下が油缶開口部(油こし網)の中心になるように位置を合わせてください。位置が合わないと油が飛び散り、火傷やケガの原因になります。



排油後は必ずレバーを【閉】の位置に戻すこと

●火傷やケガの原因となります。



油缶には規定容量以上入れないこと

●火傷やケガの原因となります。



加熱された油は膨張します必ず注意すること

●排油した油があふれ出して、火傷やケガの原因となります。



排油直後の油缶には触らないこと、動かさないこと

●排油直後の油缶は非常に高温ですので、火傷やケガの原因となります。



油缶を動かすときは油が十分に冷えたことを確認してから、前を少し上げてゆっくり引き出すこと

●火傷やケガの原因となります。



排油直後の排油口には手を近づけないこと

●排油口から後だれとして高温の油が落ちることがあり、火傷やケガの原因となります。



使用中の油缶に予備の油等を入れて本体下部に保管しないこと

●排油した油があふれ出して、火傷やケガの原因となります。



△ お願い

火を消してすぐに排油しますと油槽の中の炎導パイプに油が焦げ付きやす



油槽内の油が冷えすぎると排油時に油の流れが悪くなります

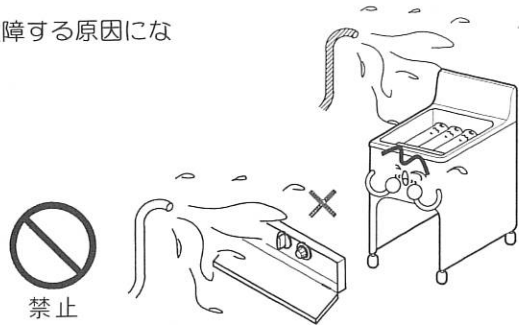


点検・お手入れのしかた 必ずお守りください

⚠ 注意

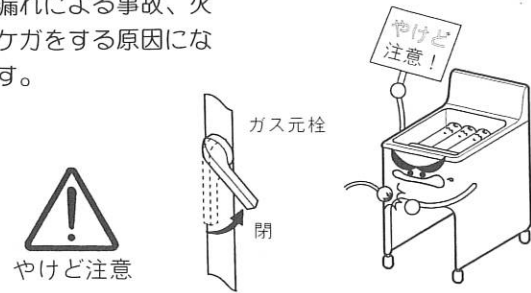
機器本体や操作盤に水をかけたり、丸洗いしないこと

- 機器が故障する原因になります。



点検・お手入れの際には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行うこと

- ガス漏れによる事故、火傷やケガをする原因になります。



本体を洗剤で手入れされる際、必ず中性洗剤を使用すること

- 中性洗剤以外のものをご使用になりますと、シミや変色、槽内溶接部の割れによる油漏れ等の原因になります。



鉄管・強化ガスホース等が損傷したり、古くなった場合は、販売店もしくはガス供給会社に連絡すること

- ガス漏れによる火災、CO中毒の原因となります。

ガス接続口はていねいに、清潔に取り扱うこと。またガス接続口を外されたときは、必ずガス接続口に保護キャップをはめること

- ガス接続口に傷が付いたり、異物が付着してガス漏れの原因となります。



油槽内や本体内部をお手入れされる際、各部品の突起部等に注意すること

- 力強く当たった場合、ケガをされることがあります。



⚠ お願い

排油バルブの揚げカス詰まりを防止するためにも、排油は毎日定期的に行ってください



排油時に油こし網に溜まった揚げカスはその都度必ず処理してください



サーモカップル・バーナ等は消耗品です。定期点検を受け必要に応じて交換してください。

点検・お手入れのしかた 必ずお守りください

油槽内の掃除

1 正しい作業方法(10P「排油作業のしかた」を参照してください)で、油槽内の油を完全に排出してください。

2 排油バルブを閉め、油槽に水又はお湯を満たし中性洗剤を入れてください。温度設定を90°Cに設定して、加熱してください。約30分後に油槽をブラシ等でこすり汚れを落としてください。

3 全ての運転を止め、排油バルブを開いて排水してください。さらにもう一度水又はお湯だけを入れて加熱します。(温度設定は90°C)

4 油槽内を水又はお湯だけで洗ってください。

5 全ての運転を止め、排油バルブを開き油槽内の水を完全に抜いた後、油槽内の水気を充分に拭きとってください。

油槽内のセンサー(温度感知棒)に触らないこと

- ⚠お願い ●傷ついたり、折れたりすると温度調節が効かなくなり、火災をおこす可能性があり大変危険です。

故障かな?と思ったら



故障かな?と思われたら、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止し、修理・サービスを依頼する前に一度次のことをお調べください。

再び操作しても同じ状態になるときは、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店またはもよりの営業所へ連絡してください。

原因	現象				操作部				処理方法
	パイロットバーナ 点火しない・消火しない	パイロットバーナ 消火しない・消火しにくい	メインバーナ 点火しない・消火しない	メインバーナ 燃発的に着火する	異常な音をたて燃える	燃発的に着火する	使用中に消火する・消火しにくい	パイロットバーナが燃える	
ガス元栓が閉まっている	○								器具栓を一度閉じてからガスの元栓を全開にする。
ガス元栓の開き不十分	○	○	○	○					LPガスボンベ残量確認 LPガス供給店に依頼
ガスがなくなりかけている(LPガスの場合)	○		○	○			○		他の器具も同様の場合は点検を依頼する
ガス圧が適正でない			○	○	○				点検を依頼する
配管内に空気が残っている	○		○						点火操作を繰り返す
配管内に水が残っている	○	○					○		点検を依頼する
換気が悪い					○	○			点検改修を依頼する(他に原因がないとき)
空気口調節			○	○	○	○	○		空気調節(ご使用方法参照)
ノズルづまり	○	○	○				○		ノズル口掃除
点火装置の電極部の汚れ	○								汚れを拭き取る
バーナ炎口づまり 空気口づまり	○		○	○					つまりを取り除く
点火操作が適切でない	○								ご使用方法参照
点火スイッチ保持時間不足								○	ご使用方法参照
器具栓の故障	○	○							点検を依頼する

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しない場合）

●各部の汚れを取り除き、十分に乾燥させてからほこりなどの異物が入らないようにビニールに包み、お求めになった時のパッキングケースに入れ湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガス通路部分（ガス接続口など）には、ほこりが入ってガス通路を詰まらせないようにしてください。

アフターサービスのお申し込み

●アフターサービスのお申し込み

12ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。ご確認のうえ不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店または最寄りの営業所にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- 1、品名……………ガスフライヤー
- 2、型式・製造番号……器具の前面に添付してあります。
- 3、故障・異常の現象…できるだけ詳しく。
- 4、お客様名・住所・電話番号

型式	(例)G-TGFL-45
製造番号	(例)99-06-AE0000
ガス種	(例)LPガス用
ガス消費量	(例)10.50kW (例)(0.75kg/h)
tanico	

●転居される場合

ガスには都市ガス13種類及びLPガスの分けがあります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、最寄りの営業所にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

●消耗品

バーナー・サーモカップル等は消耗品です。定期点検を受け必要に応じて交換してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。



保証について

●製品は厳重な検査を経てお届けしていますが、万一「正常な使用状態」でご使用中に故障が発生した場合、お買い上げ日より1年間、保証書記載の内容により保証させていただきます。

保証書引換証について

弊社では、アフターメンテナンスの向上のためユーザー登録制度をとらせていただいています。お手数ですが製品に添付されている保証登録書に必要事項をご記入のうえ投函をお願い致します。記入方法の詳細につきましては、保証登録書の説明をご覧ください。

お送りいただいたカードが弊社に届きしだい、保証登録をさせていただきます。ご不明な点は販売店にお申し付けください。保証登録されていない場合、保証が受けられないことがありますのでご注意ください。保証内容については保証書裏面の保証規定をご覧ください。

保証書

このたびはタニコー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。お買い上げいただきました製品につきまして、本保証書記載の内容により保証させていただきます。

型式	
製造番号	
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より 1年間
お客様 お名前	フリガナ 氏名
	〒 都道府県 区市郡
お客様 ご住所	電話番号 () -
	ご販売店様名

保証登録書

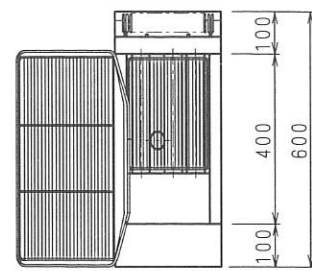
このたびはタニコー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本保証登録書はタニコーからお客様へご連絡を差し上げる際の資料となります。お手数でも、ご記入の上、ご返送いただけますようお願い申し上げます。

型式	
製造番号	
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より 1年間
お客様 お名前	フリガナ 氏名
	〒 都道府県 区市郡
お客様 ご住所	電話番号 () -
	ご販売店様名

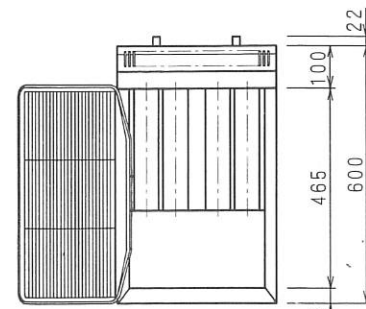
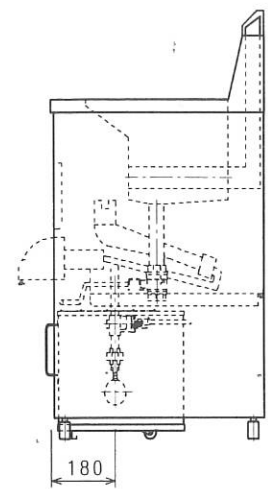
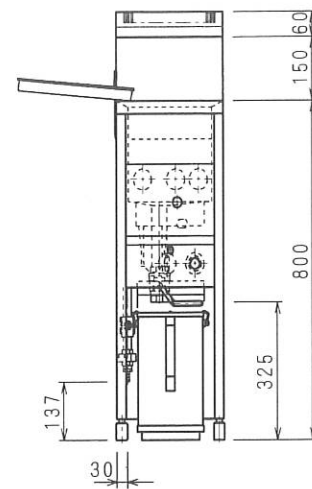
本保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから必ずお買い上げ日、お客様名、ご住所、電話番号、販売店名の記入をご確認ください。

本保証書登録書のご返却により保証登録が発行されます。必ずお買い上げ日、お客様名、ご住所、電話番号、販売店名の記入をご確認ください。

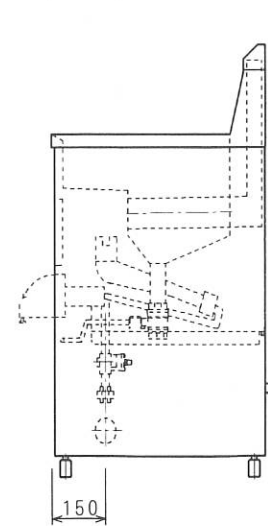
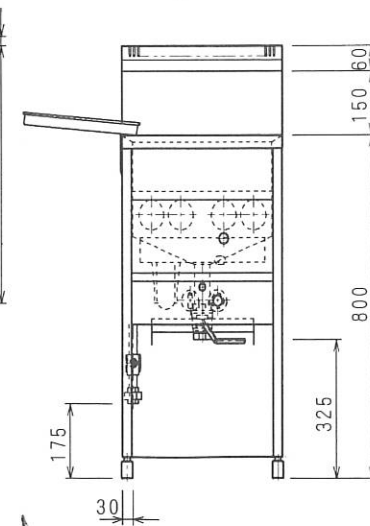
製品仕様一覧



(G-TGFL-30)



(G-TGFL-45)

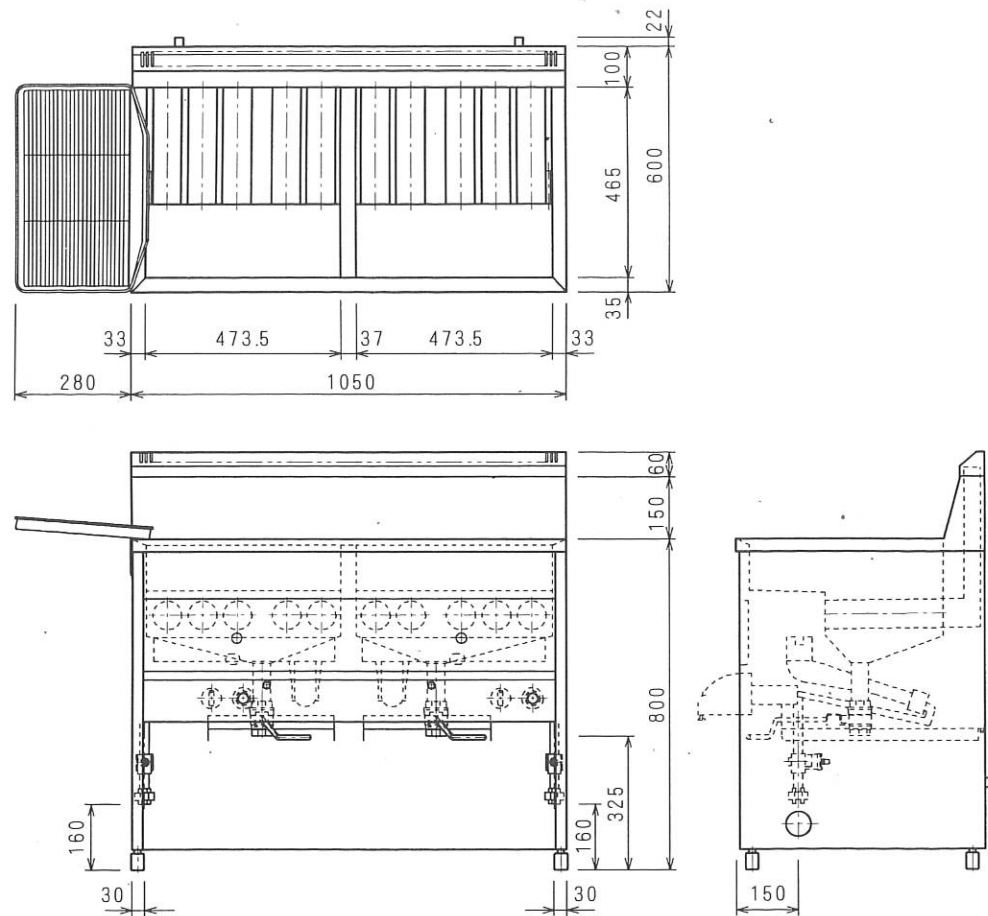


型式	G-TGFL-30	G-TGFL-35	G-TGFL-45	G-TGFL-55	G-TGFL-67	G-TGFL-87	
外形寸法	間口 (mm)	300	350	450	550	670	870
	奥行 (mm)	600 (+22 防火用離隔板)					
	高さ (mm)	800					
油槽有効寸法	間口 (mm)	234	280	380	480	610	810
	奥行 (mm)	465					
適正油量 (リットル)	8	15	18	23	30	36	
製品重量 (kg)	30	36	44	50	56	67	
ガス消費量	都市ガス	4.70kW (4,100kcal/h)	7.00kW (6,500kcal/h)	11.65kW (10,000kcal/h)	14.00kW (12,000kcal/h)	14.55kW (12,500kcal/h)	23.25kW (20,000kcal/h)
	LPガス	4.55kW (0.33kg/h)	6.30kW (0.45kg/h)	10.50kW (0.75kg/h)	11.90kW (0.85kg/h)	14.65kW (1.05kg/h)	21.00kW (1.50kg/h)
ガス接続口	都市ガス	13φホースエンド					15Aユニオン
	LPガス	9.5φホースエンド					
排油口	32Aボールバルブ						
温度調節範囲	90℃~220℃						
点火方式	圧電点火方式						
安全装置	異常過熱防止装置（液膨張方式・手動復帰）・口火安全装置（熱電対方式）						

ご確認

お手元に保証登録書、保証書がどちらもない場合には、お近くの弊社支店、営業所あるいはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品仕様一覧



(G-TGFL-105W)

型 式	G-TGFL-67W	G-TGFL-87W	G-TGFL-105W	G-TGFL-130W	
外形寸法	間口 (mm)	670	870	1050	1300
	奥行 (mm)	600 (+22 防火用離隔板)			
	高さ (mm)	800			
油槽有効寸法	間口 (mm)	280	380	480	610
	奥行 (mm)	465	465	465	465
適正油量 (リットル)	15 × 2	18 × 2	23 × 2	30 × 2	
製品重量 (kg)	60	71	85	100	
ガス消費量	都市ガス	14.00kW (13,000kcal/h)	23.30kW (20,000kcal/h)	28.00kW (24,000kcal/h)	29.10kW (25,000kcal/h)
	LPガス	12.60kW (0.90kg/h)	21.00kW (1.50kg/h)	23.80kW (1.70kg/h)	29.30kW (2.10kg/h)
ガス接続口	15Aユニオン×2				
排油口	32Aボールバルブ×2				
温度調節範囲	90℃~220℃				
点火方式	圧電点火方式				
安全装置	異常過熱防止装置 (液膨張方式・手動復帰) ・ 口火安全装置 (熱電対方式)				

設置上のご注意 必ずお守りください

- 設置工事をされる前に、この「設置上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 危険

本体に貼ってある銘板のガス種以外では、使用しないこと

- 異常燃焼で火災、火傷やCO中毒の原因になったり、機器が故障することがあります。



引越や移設されたときにも、供給ガスの種類と機器銘板のガスの種類が一致していることを必ず確かめること

- 異常燃焼で火災、火傷やCO中毒の原因になったり、機器が故障することがあります。



⚠ 警告

機器ごとに定められた設置基準に従って、正しく設置すること

- 正しく設置されないと、火災や火傷、CO中毒の原因になったり、機器が故障することがあります。



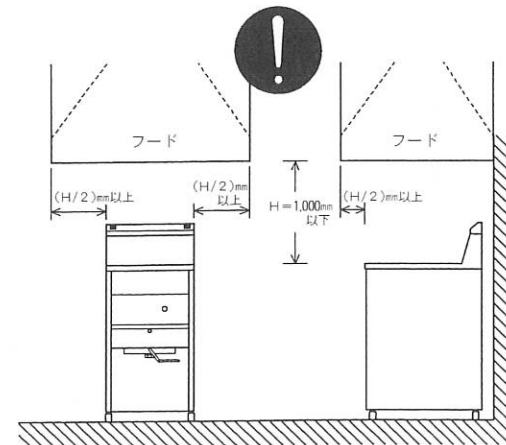
機器を設置した後、機器の周囲の改造をしないこと (例えば、吊り戸棚をつける、周囲を囲う等。)

- 設置基準上問題となる場合があり、不完全燃焼や火災の原因になります。



機器には必ず排気フード (耐熱・不燃性) を設けること

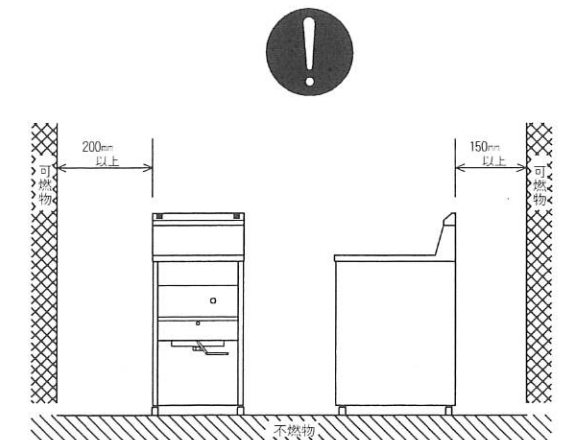
- 排気フードの形状、排気用送風機の能力、排気筒の設置方法等は「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」に従ってください。正しく設置されないと、火災や火傷、機器の故障の原因になります。



○トッププレートから排気フードまでの距離は1,000mm以下としてください。排気フードの大きさは、火源の周囲 (排気フードの下端までの高さの1/2以内の水平距離にある部分) を覆うことができる物としてください。

周囲に可燃物のある場合の離隔距離は機器の設置基準に従うこと

- 設置基準を守らない場合は、壁が焦げたり、火災の原因になります。

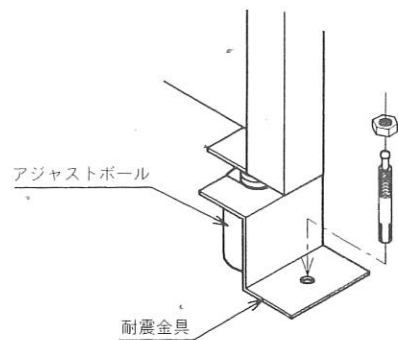


○側面は200mm以上、後面は150mm以上、可燃物から離してください。なお、地域の火災予防条例により、離隔距離等が異なることがあります。その場合は条例に従ってください。

警告

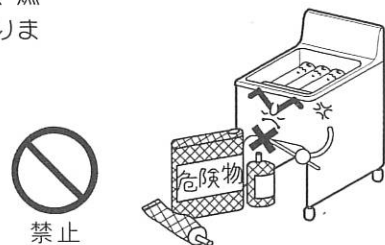
設置の際には、付属の耐震金具を使用して、機器本体と床部を固定すること

- 脚部アジャストのネジ部に耐震金具を差し込み、床部にボルト等で固定してください。固定されない場合、機器の転倒により、ケガや火傷の原因になります。(G-TGFL-30のみ)



ガソリン・ベンジン・接着剤などの引火危険物を扱う場所には設置しないこと

- 使用中に爆発したり、燃えて火災の原因になります。



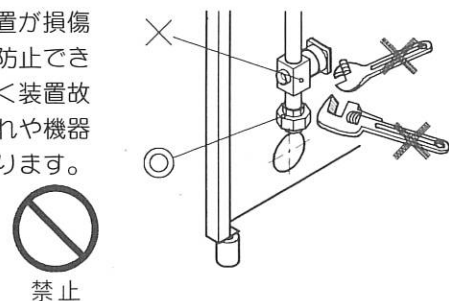
換気(吸気・排気)が充分にできる場所に設置すること

- 不完全燃焼、CO中毒、機器故障の原因になります。



ガス接続時に異常過熱防止装置本体には工具等を使用しないこと

- 工具等の締め付けにより異常過熱防止装置が損傷し、火災発生を防止できないばかりでなく装置故障によるガス漏れや機器故障の原因となります。



器具本体を設置する場合、本体の下に新聞紙・木材等の可燃物を敷かないようにすること

- 火災の原因になります。



棚の下等、落下物の危険のあるところでは使用しないこと

- 火災やケガ、機器の故障の原因となります。



カーテンや燃えやすいものの近くには設置しないこと

- 使用中に近くの方が燃えて、火災の原因になります。



鉄管・金属可とう管等機器にあった接続を行うこと

- ガス漏れや誤開放の原因になります。



機器本体が鉄管、金属可とう管接続仕様になっている場合には、一般のガス用ゴム管やビニール管は使用できません

- 接続方法を間違えると、機器の能力が出なかったり、ガス漏れの原因となり、大変危険です。



注意

ガス・水道の配管設備は、各供給事業者の指定する工事店に依頼し、その供給事業者の指定する工法に従うこと

- 正しく設置されないと、火災や火傷、機器の故障の原因になります。



器具には器具単独の元栓を設け、できるだけ元栓の近くに設置すること



フライヤー本体左側(2槽式は両面)には、加熱物(コンロ、ガス・電熱機器等)を併設しないこと

- 加熱物よりの放射熱により異常過熱防止が誤作動するおそれがあります。



機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく使用すること

- 正しく設置されないと、火災や火傷、機器の故障の原因になります。



強い風の吹き込むところでは使用しないこと

- 性能が充分発揮できなかつたり、炎が消えたり、風にあおられて周囲のものが過熱される原因になります。



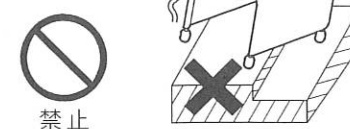
水のかかるところや湿気のあるところ、腐食性有毒ガス、ほこり等異常な雰囲気では使用しないこと

- 不完全燃焼、中毒、機器故障の原因になります。



安全性のよい丈夫で水平な場所に設置すること

- 不安定で傾いたところに設置すると、機器の転倒や異常過熱等によって、ケガや火傷および機器故障の原因になります。



設置後、本体が不安定または水平でない場合、アジャストで調整すること

- 機器の転倒や異常加熱等によって、ケガや火傷および機器故障の原因になります。



樹脂製の照明器具等のご使用は避けること

- 照明器具のかさ等が変形することがあります。



ガス接続口はていねいに、清潔に取り扱うこと。またガス接続口を外されたときは、必ずガス接続口に保護キャップをはめること

- ガス接続口に傷が付いたり、異物が付着してガス漏れの原因となります。



ゴム管はホースエンドの赤線まで差し込んで、ゴム管止めでしっかりと止めること

- ゴム管が抜けたり抜けかけたりすると、ガス漏れを起こし、火災や爆発の原因になります。(G-TGFL-30のみ)



ゴム管は、ガス用ゴムを用い、折れたりねじれたりしないよう、出来るだけ短くし、また、機器の下を通したり、機器に触れたりしないようにすること

- ゴム管が早くいたみ、ガス漏れを起こし、火災や爆発の原因になります。(G-TGFL-30のみ)



設置後のご確認

次のことをもう一度確認してください。

- 可燃物との距離、防火上措置等の確認。
- 保安管理上必要な空間があるか等(点検・修理等のため)の確認。
- ガスの元栓、ガス接続、ガス供給設備等の確認。
- 必ずガス漏れの点検を行ってください。





■システム事業部

東日本システム部 / TEL 03(5498)7900(代)
 大阪システム部 / TEL 06(6399)9877(代)
 官需部 / TEL 03(5498)7904(代)

■設計本部

東京設計本部 / TEL 03(5498)7913(代)
 大阪設計本部 / TEL 06(6399)8922(代)
 中部設計本部 / TEL 0568(22)9221(代)
 九州設計本部 / TEL 092(503)3374(代)

■北海道事業部

札幌 営業所 ☎011(862)3000(代)
 札幌 営業所 ☎011(684)9560(代)
 札幌 営業所 ☎0126(45)3100(代)
 札幌 営業所 ☎0166(51)4600(代)
 札幌 営業所 ☎0157(23)8144(代)
 札幌 営業所 ☎0155(24)8612(代)
 札幌 営業所 ☎0138(47)5377(代)
 札幌 営業所 ☎0154(25)1341(代)
 札幌 営業所 ☎0144(35)5070(代)

■東北事業部

仙台 営業所 ☎022(236)3607(代)
 仙台 営業所 ☎0234(23)7378(代)
 仙台 営業所 ☎023(635)0237(代)
 仙台 営業所 ☎019(636)2951(代)
 仙台 営業所 ☎0197(51)1715(代)
 仙台 営業所 ☎018(846)5401(代)
 仙台 営業所 ☎0178(20)1171(代)
 仙台 営業所 ☎017(728)0361(代)
 仙台 営業所 ☎0172(26)9095(代)
 仙台 営業所 ☎0244(44)1170(代)
 仙台 営業所 ☎024(952)5558(代)
 仙台 営業所 ☎024(533)6264(代)
 仙台 営業所 ☎0242(29)0958(代)
 仙台 営業所 ☎0246(36)7342(代)

■北関東事業部

高崎 営業所 ☎027(326)4089(代)
 高崎 営業所 ☎048(652)6626(代)
 高崎 営業所 ☎048(532)1141(代)
 高崎 営業所 ☎028(647)1431(代)
 高崎 営業所 ☎025(283)4020(代)
 高崎 営業所 ☎0263(26)3340(代)
 高崎 営業所 ☎026(259)3471(代)

■東京事業部

東京 事業部 ☎03(3711)7431(代)
 東京 課 ☎03(3715)3121(代)
 東京 課 ☎03(3711)7381(代)
 東京 課 ☎03(3715)3123(代)
 東京 課 ☎03(3715)5391(代)
 東京 課 ☎03(3854)3261(代)
 東京 課 ☎03(5664)1511(代)
 東京 課 ☎043(248)0791(代)
 東京 課 ☎0475(22)5656(代)
 東京 課 ☎029(248)3038(代)
 東京 課 ☎0298(51)8613(代)
 東京 課 ☎0471(63)0405(代)

■南関東事業部

首藤 営業所 ☎044(755)8081(代)
 首藤 営業所 ☎0466(89)3704(代)
 首藤 営業所 ☎045(680)5355(代)
 首藤 営業所 ☎042(751)5201(代)
 首藤 営業所 ☎0465(39)1170(代)
 首藤 営業所 ☎042(546)6011(代)
 首藤 営業所 ☎055(235)5201(代)

■中部事業部

名古屋 営業所 ☎0568(25)6222(代)
 名古屋 営業所 ☎0593(49)6351(代)
 名古屋 営業所 ☎059(235)5761(代)
 名古屋 営業所 ☎058(274)6201(代)
 名古屋 営業所 ☎0564(71)0955(代)
 名古屋 営業所 ☎0532(69)2751(代)
 名古屋 営業所 ☎053(460)0811(代)
 名古屋 営業所 ☎0559(73)3000(代)

伊豆 出張所 ☎0557(38)1504(代)
 東海 出張所 ☎0559(69)4071(代)
 東海 出張所 ☎054(237)8950(代)
 東海 出張所 ☎0776(63)3071(代)
 東海 出張所 ☎0779(59)7081(代)
 東海 出張所 ☎0770(21)9121(代)
 東海 出張所 ☎076(223)2778(代)
 東海 出張所 ☎076(422)8686(代)
 東海 出張所 ☎0766(29)2333(代)

■関西事業部

堺 営業所 ☎0722(70)6205(代)
 堺 営業所 ☎073(473)3211(代)
 堺 営業所 ☎075(642)8056(代)
 堺 営業所 ☎0773(25)2434(代)
 堺 営業所 ☎078(821)8620(代)
 堺 営業所 ☎0792(86)5121(代)

■中・四国事業部

広島 営業所 ☎082(870)7701(代)
 広島 営業所 ☎0849(41)4045(代)
 広島 営業所 ☎0839(89)6425(代)
 広島 営業所 ☎086(221)5632(代)
 広島 営業所 ☎0852(27)1442(代)
 広島 営業所 ☎0857(25)6011(代)
 広島 営業所 ☎087(864)3111(代)
 広島 営業所 ☎088(665)7474(代)
 広島 営業所 ☎089(926)1818(代)
 広島 営業所 ☎0897(36)5341(代)
 広島 営業所 ☎088(880)4581(代)

■九州事業部

福岡 営業所 ☎092(504)3321(代)
 福岡 営業所 ☎0942(22)8001(代)
 福岡 営業所 ☎0952(33)9065(代)
 福岡 営業所 ☎093(963)7051(代)
 福岡 営業所 ☎095(862)5334(代)
 福岡 営業所 ☎0956(31)3822(代)
 福岡 営業所 ☎097(554)8110(代)
 福岡 営業所 ☎096(379)2222(代)
 福岡 営業所 ☎0985(28)3090(代)
 福岡 営業所 ☎0982(34)0061(代)
 福岡 営業所 ☎099(243)2900(代)
 福岡 営業所 ☎098(864)0966(代)

■工場

福岡 工場 ☎0244(22)3121(代)
 福岡 工場 ☎0244(46)5811(代)
 福岡 工場 ☎0244(46)5997(代)
 福岡 工場 ☎0244(44)6161(代)
 福岡 工場 ☎0246(36)1780(代)
 福岡 工場 ☎0126(45)3100(代)
 福岡 工場 ☎044(766)3878(代)
 福岡 工場 ☎048(965)1105(代)
 福岡 工場 ☎0779(69)7006(代)
 福岡 工場 ☎0779(65)1111(代)
 福岡 工場 ☎0779(69)7007(代)
 福岡 工場 ☎0779(65)1187(代)
 福岡 工場 ☎0776(67)1111(代)
 福岡 工場 ☎09493(2)1001(代)